

Windows Embedded コンポーネント作成 簡単早わかり

必要なもの

Windows Embedded 開発環境

使用するデバイスのデバイスドライバ（インストーラ形式ではなく、.INF ファイル形式のものを用意してください。）

作業ディレクトリを作成します。

ここでは、ICH8CORE.INF を使って ICH8 のコンポーネントを作成しますので、

¥ICH8CORE

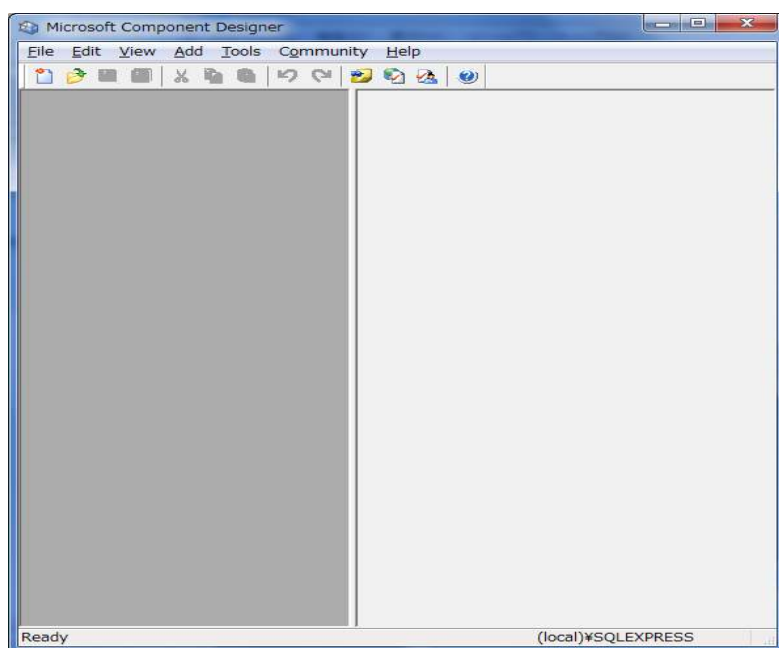
¥SLD

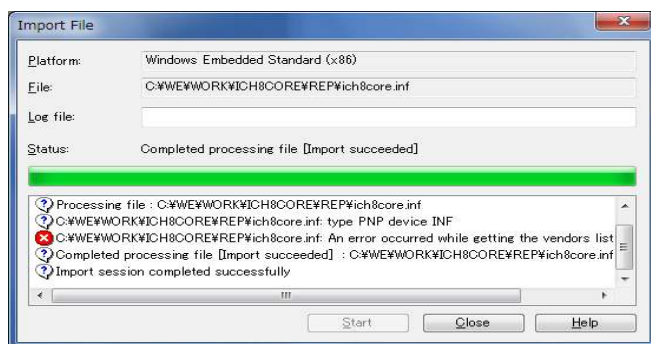
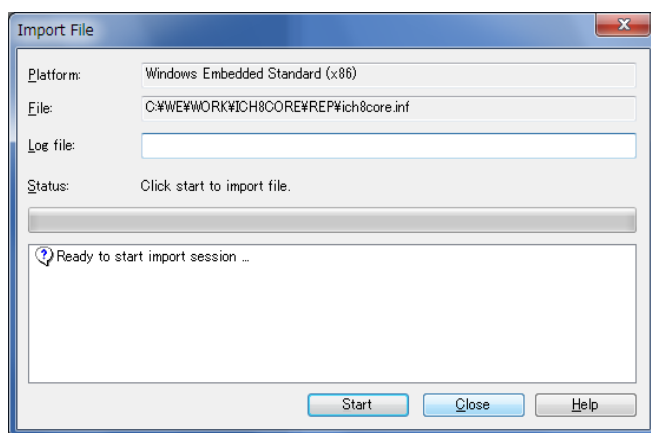
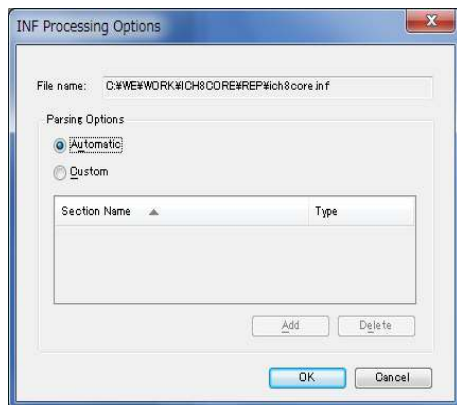
¥REP

というディレクトリを作成しました。

¥ICH8CORE¥REP ディレクトリに ICH8CORE.INF をコピーします。

Component Designer を起動し、File -> Import で ICH8CORE.INF をポイントします。





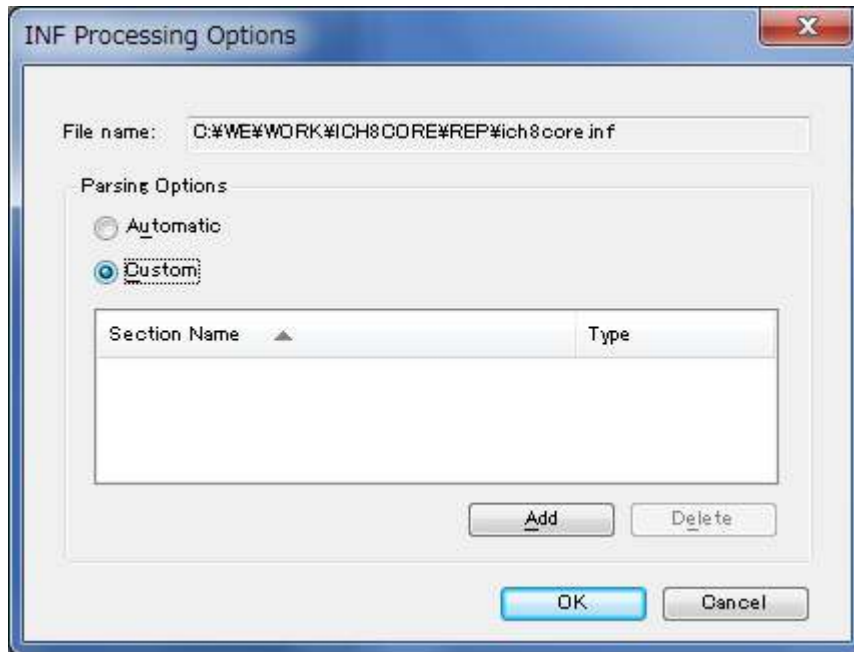
Vendors リストの取得でうまくいかないので、INF ファイルをチェックしましょう。

```
; *****
;
; **      Filename:   ICH8CORE.INF
; **      Abstract:   Windows* 2K, XP, 2003, 2008, Vista INF File for
; **                  Intel(R) 82801 core devices
; **      Last Update: February 20, 2008 (Version 8.6.0 Build 1002)
; *****
```

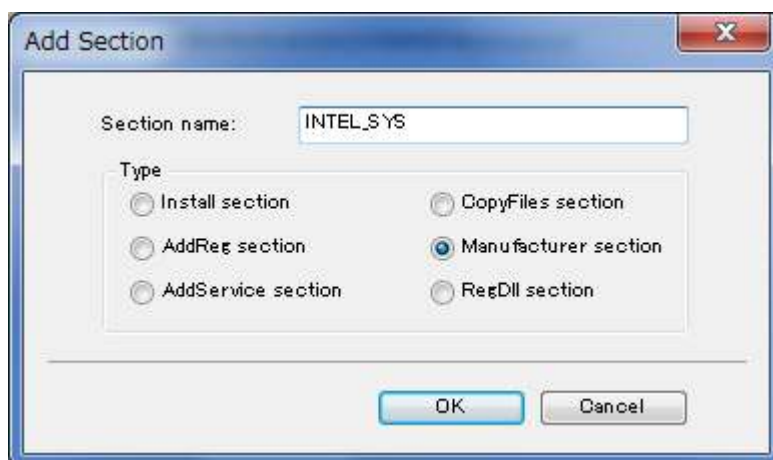
[Manufacturer]

%INTEL%=INTEL_SYS,NTamd64

と記載されていますので、このセクション名を使います。



と Custom を選び、Add を選んで

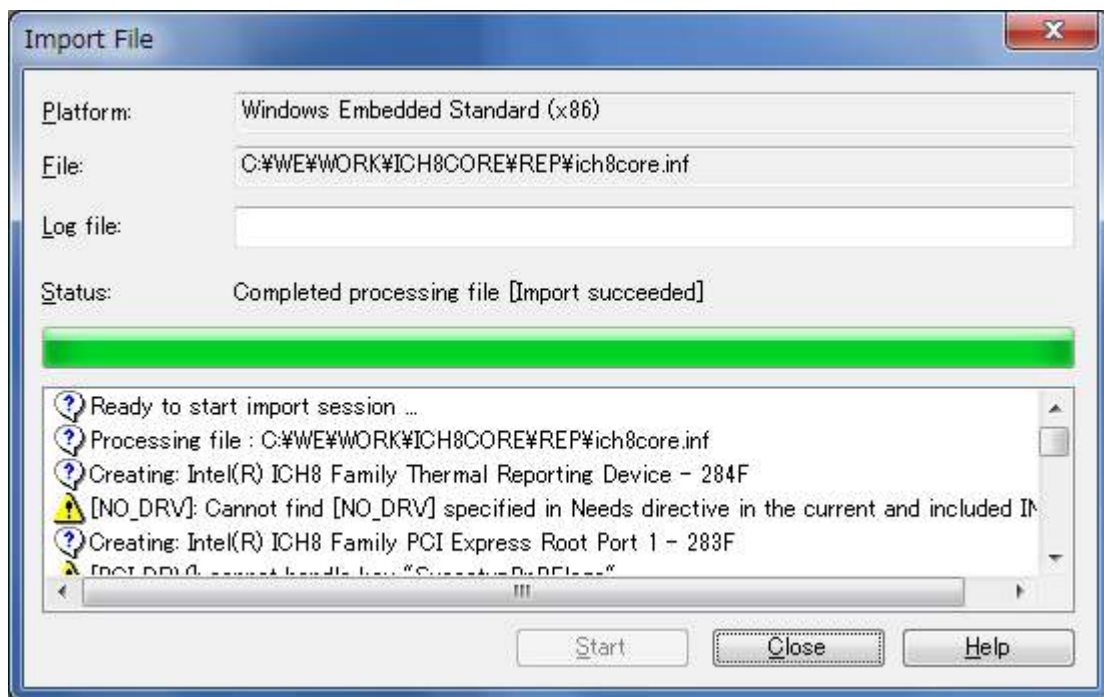


のように、Manufacturer section をチェックし、Section name:に INTEL_SYS と記載します。

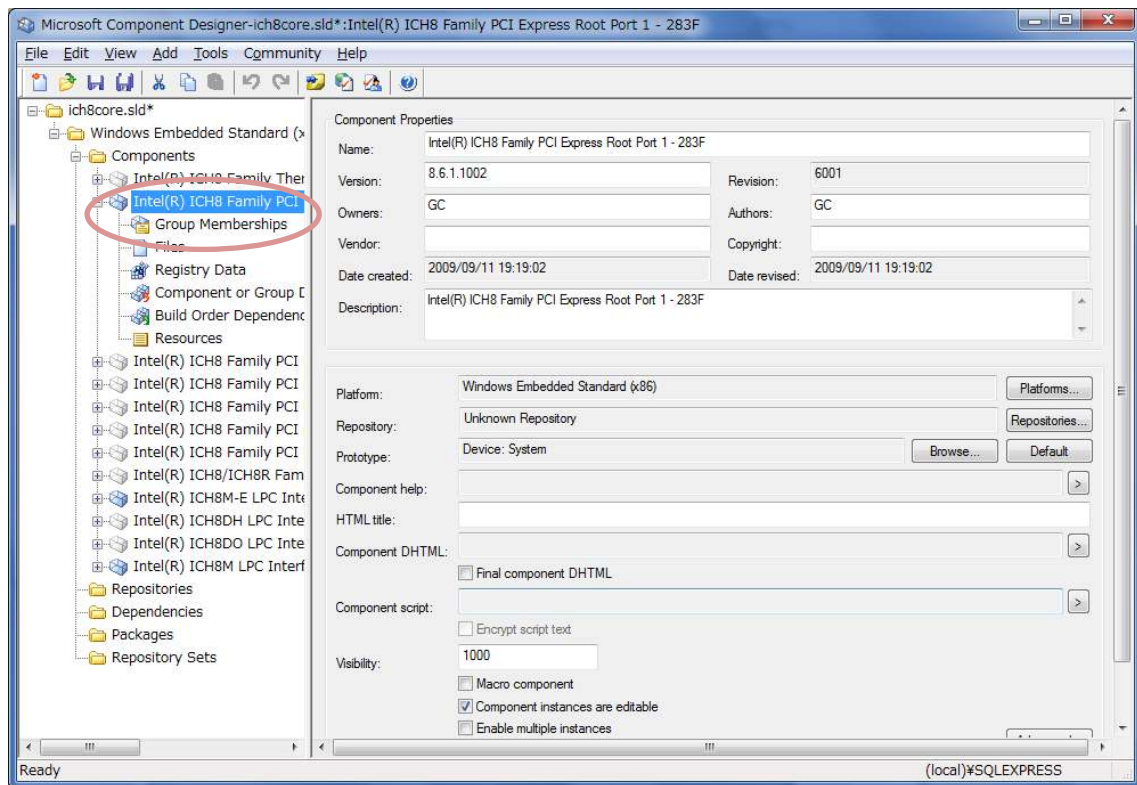
OK を押して続行すると、今度は Include のエラーです。

Machine.infがありません。これは Microsoft 標準のもので、C:\Windows Embedded Data\Repositories から MACHINE.INF を見つけ出して、REP ディレクトリにコピーします。

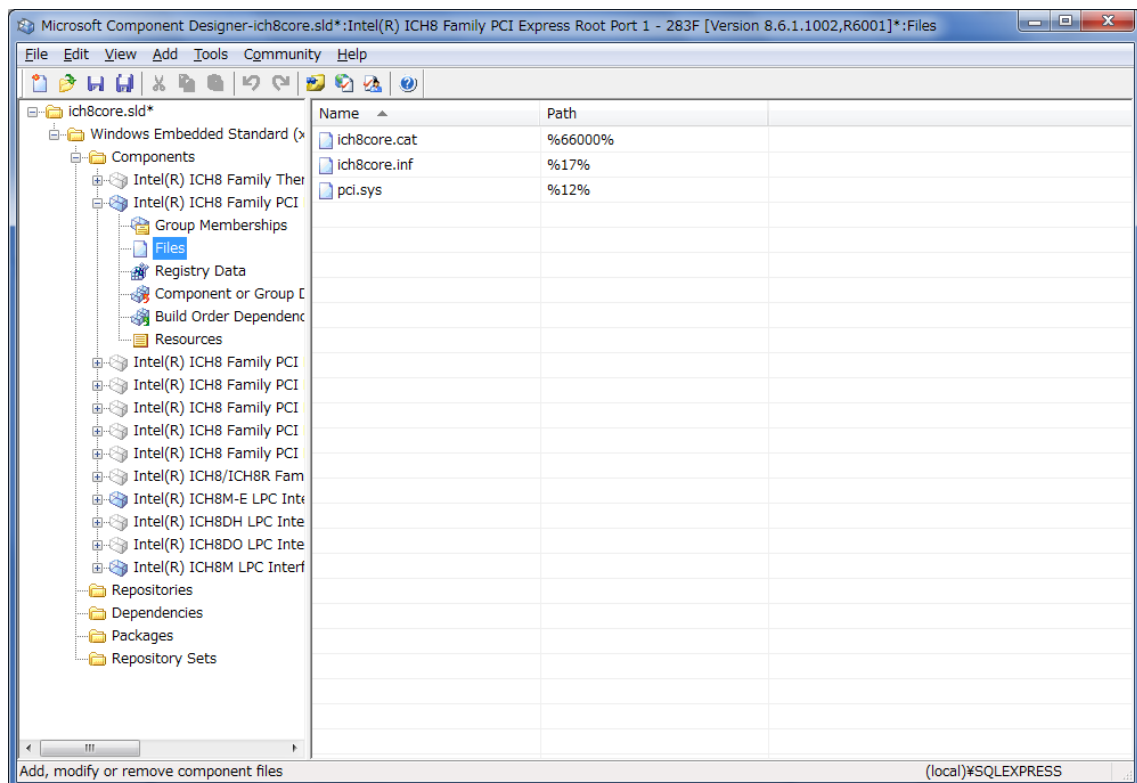
再度実行すると



と NO_DRV の Warning がありますが、コンポーネントはできていますので、続行します。



Files セクションをみてください。



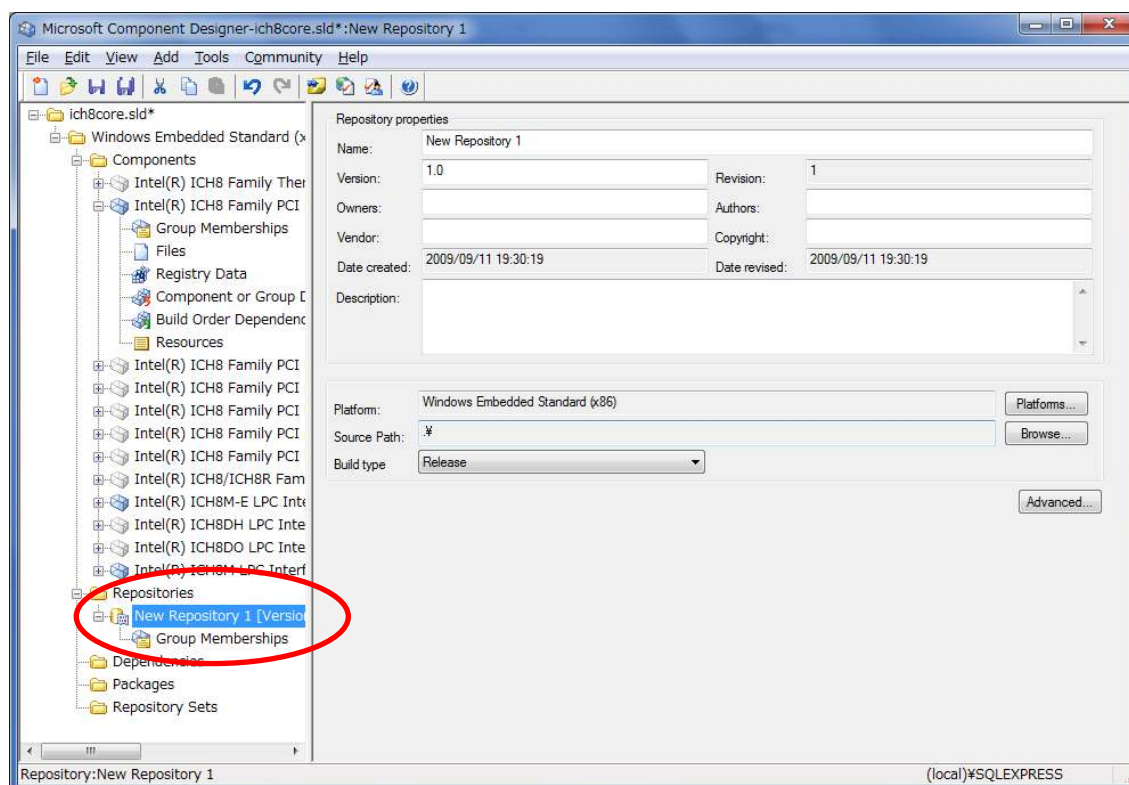
ここに記載されているファイルがこのコンポーネントに必要なファイルになります。

実際は、Pci.sys は他のコンポーネントからも参照されますので、必須ではないですが PCI.SYS を含む他のコンポーネントを構成に入れる必要があります。

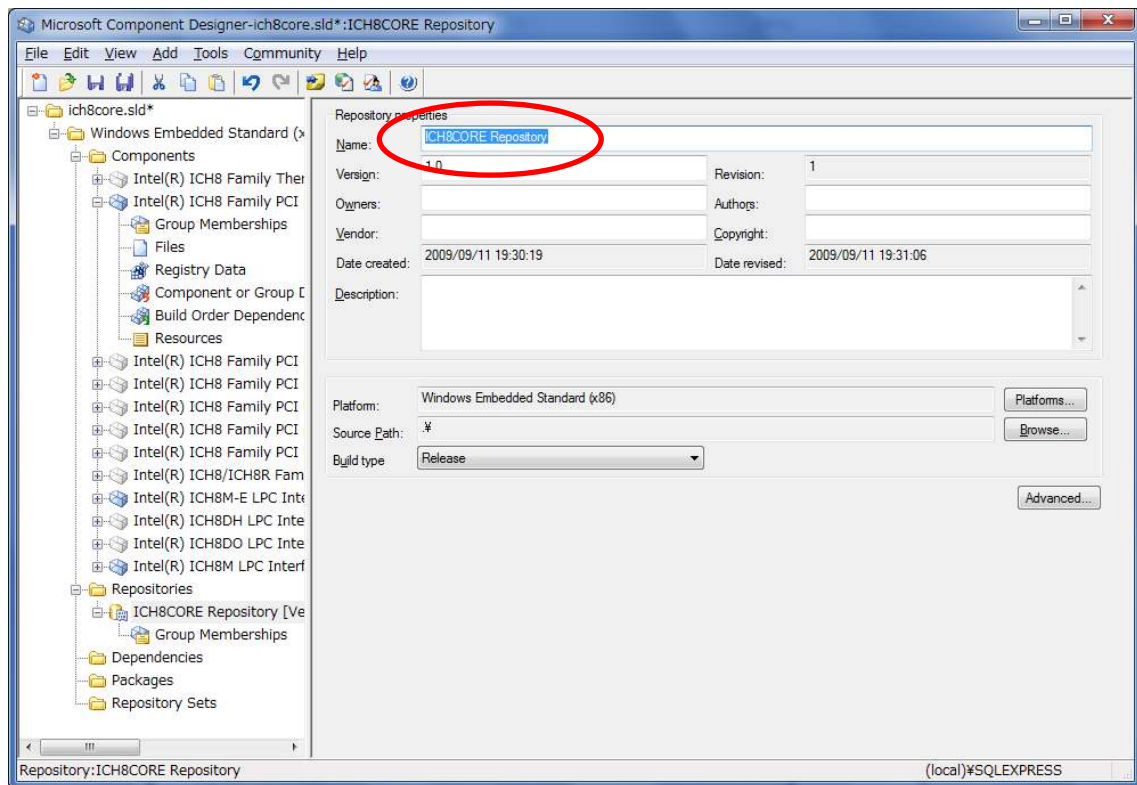
ここでは、PCI.SYS を右クリック Disable しておきます。

ICH8CORE.INF は既にコピーされていますので、ICH8CORE.CAT を REP ディレクトリにコピーしておきます。

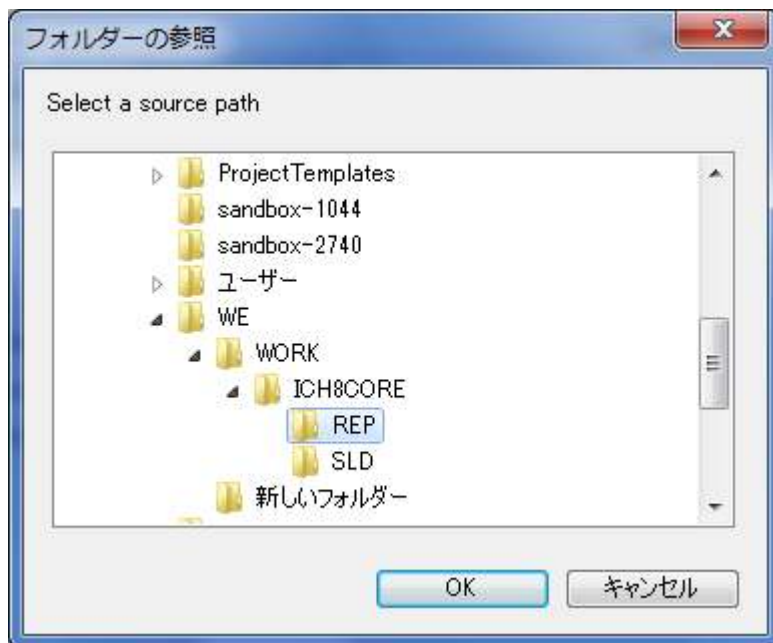
新規 Repository を作成します。Repositories にて右クリック、Add Repository を選択してください。

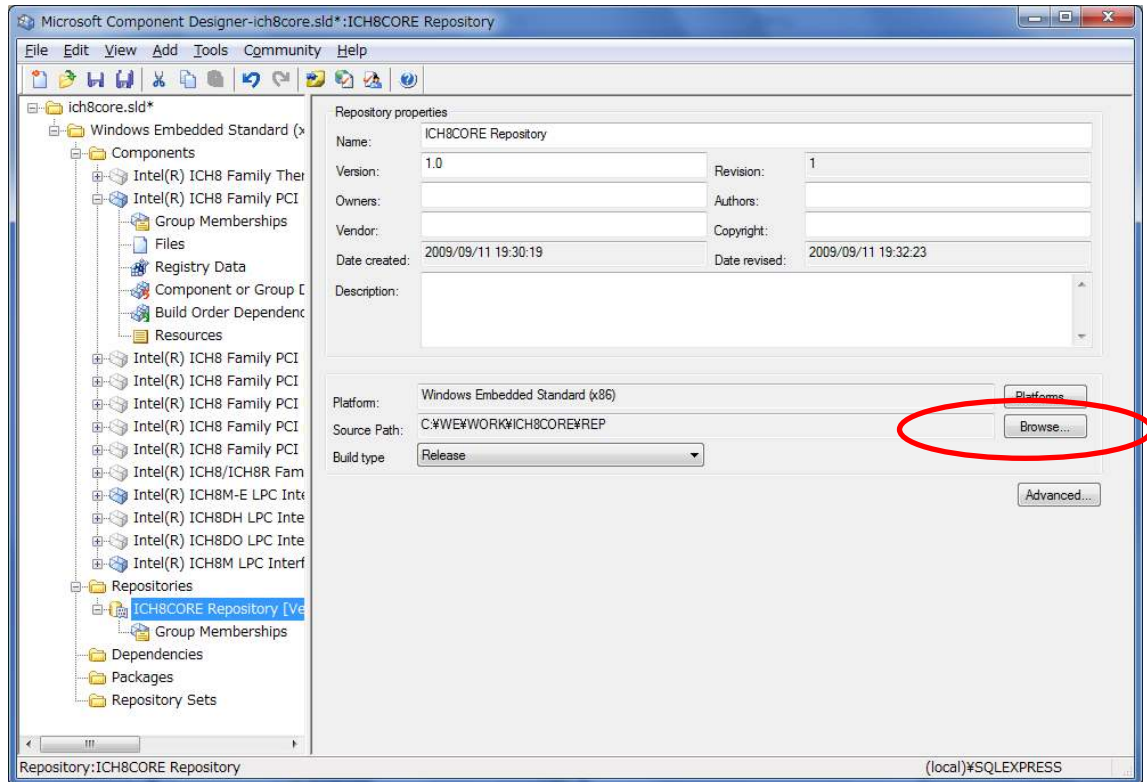


名前を付けます。ICH8CORE Repository としました。

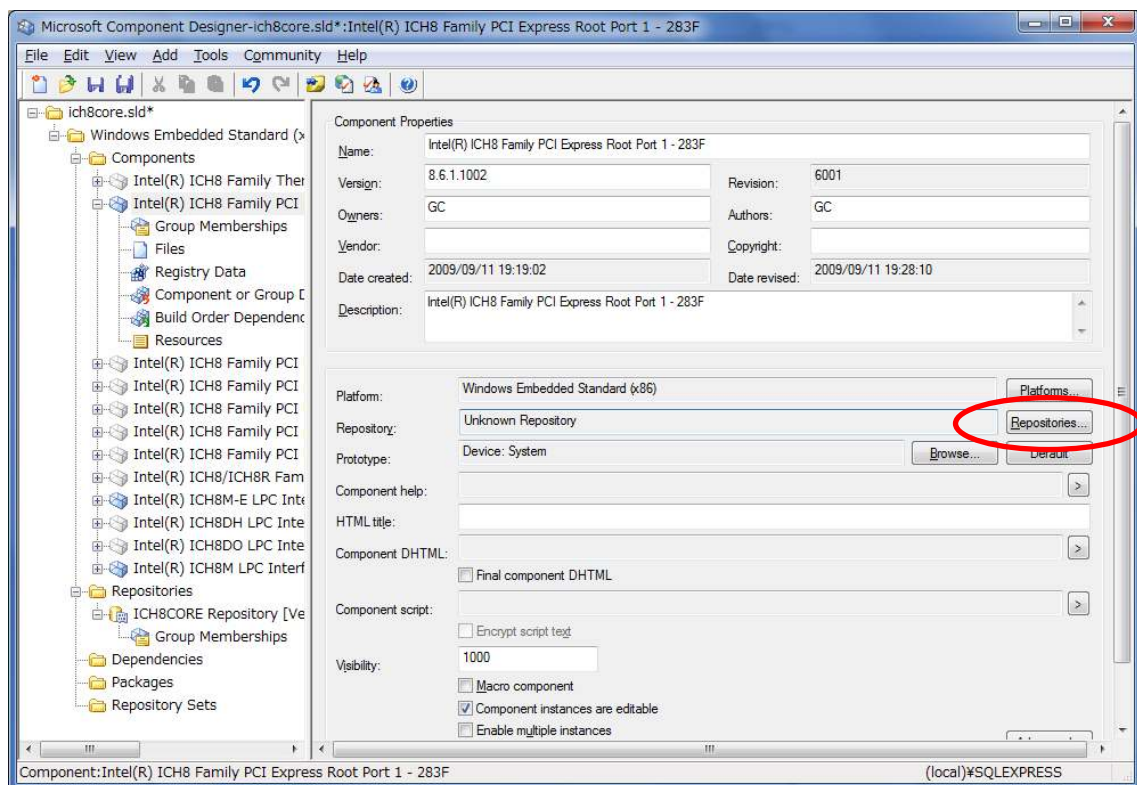


Source Path を設定します。Browse を選んで、REP ディレクトリを指定します。

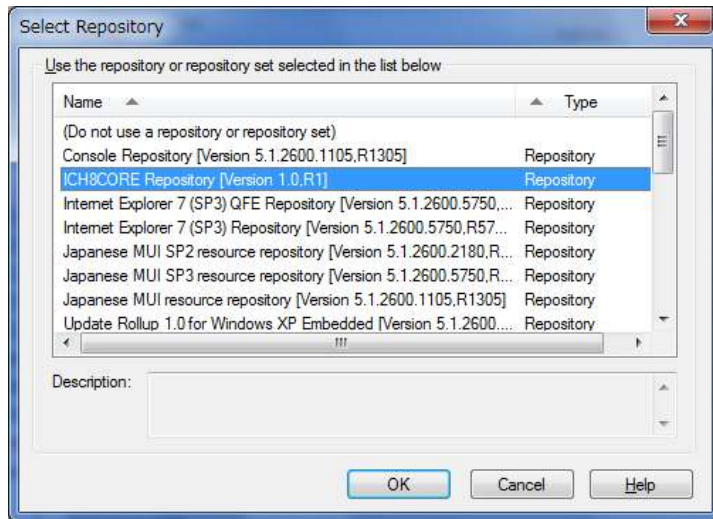




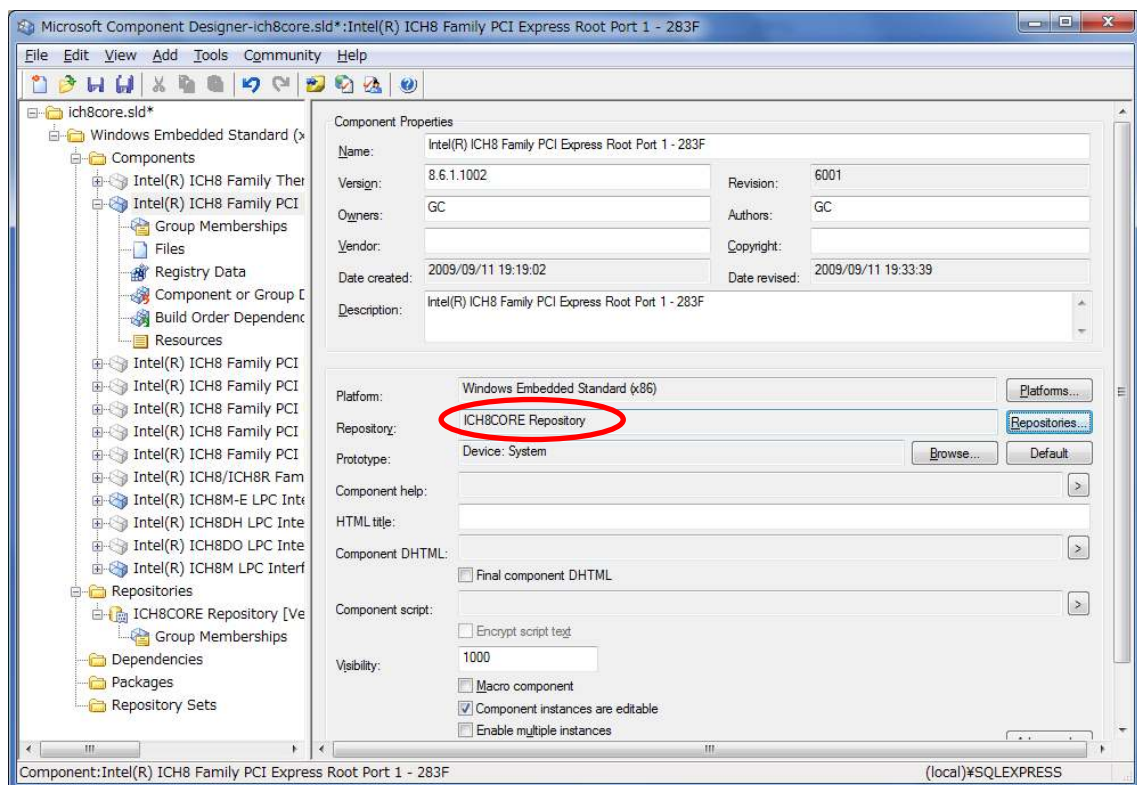
コンポーネントに戻ります。



リポジトリを今ほど作成したリポジトリに設定します。



リポジトリが設定されていることを確認ください。



同様にファイルを伴うコンポーネントを作成したら、そのコンポーネントに必要なファイルを含むリポジトリを作成し、コンポーネントにリポジトリの関連付けを行ってください。

Save as で SLD ディレクトリに保存します。

ICH8CORE ディレクトリは

REP

ICH8CORE.INF

ICH8CORE.CAT

SLD

ICH8CORE.SLD

となりました。

このディレクトリ構成を保ったまま、SLD¥ICH8CORE.SLD を Component Data Base Manager で取り込めば、Target Designer で使用できるようになります。